

令和5年度 第2回 長浜市未来子ども若者会議 会議録【掲載用】

日 時 令和5年10月13日（金）10時～11時50分

場 所 えきまちテラス1階 長浜カイコー

出席者 【委員】 西川委員、大橋委員、鎌田委員、宇留野委員、水上委員、柏崎委員、
中川委員、山内委員、宮本委員、澤委員、小幡委員、荒井委員

【事務局】 未来創造部：中嶋部長、森次長

未来子ども若者局：村崎局長、為永管理監、稲葉課長代理、
服部副参事、茂森副参事

子ども家庭支援課：平塚課長、森室長、伊吹課長代理

健康推進課：小寄課長、守本課長代理

幼児課：今田課長、奥村参事

政策デザイン課：山崎副参事

欠席者 【委員】 大橋委員、北村委員、一色委員、山岡委員

【事務局】 未来子ども若者局：山口管理監

傍聴者 1人

《開会》

【事務局】 それでは定刻となりましたので、これより令和5年度第2回長浜市未来子ども若者会議を始めさせていただきます。本日、皆さまには何かとご多用の中、本会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

まず最初に、本会議は「長浜市未来子ども若者会議規則」第5条第3項におきまして、委員の過半数の出席をもって、会議は成立となります。本日、北村委員、山岡委員、一色委員、大橋委員からご欠席の連絡をいただいております。また柏崎委員におかれましては、遅れてのご出席とお伺いしております。現在10名のご出席ということで、会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

また、本会議は「附属機関等の会議の公開等に関する要綱」に基づき公開となっており、傍聴される方が最大5名となっており、本日おひとりお越しになっておられます。あらかじめご了承願います。

開会にあたりまして、長浜市未来創造部長中嶋よりごあいさつ申し上げます。

《開会あいさつ》

～中嶋部長より開会のあいさつ～

この会場は、高校生を中心に利用しているサードプレイス。高校生の様子を見てみると世代を越えていろいろな意見を聞くことは大事なことだと実感する。今日は委員のみなさんに存分にアイデアを出していただきたい。

【事務局】ありがとうございました。それでは議事に入ってまいります。本日の資料の確認をさせていただきます。ご用意いただいておりますでしょうか。お手持ちでない場合はどうぞお声掛けください。

それでは議事に入らせていただきます。本日の会議は、12時終了を予定しておりますので、よろしく申し上げます。

また、規則第4条第2項の規定に基づき、会長は会議の議長になるとありますので、ここからの議事の進行を会長にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

《議事》

【会長】みなさん、おはようございます。ここ、いい場所ですね。オープンな感じでお話しできそうです。後半はワールドカフェスタイルでみなさんとお話ししたいなと思っております。前半はいろいろなご説明を受けるということで、後半もう少しワールドカフェで深められたらと思います。できる限り説明の部分は、丁寧に要領よくやっていただき、ワールドカフェでは、それぞれのお立場でのお考えやアイデアを出していただき、どうぞここカイコーのような自由な雰囲気、意見を吸収し、話し合ってくださいようお願いします。

では、進行させていただきます。第1「第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」事務局からご説明をお願いします。

～事務局説明資料1～

【会長】はい、ありがとうございます。丁寧に説明いただきました。それでは説明がありました件について、ご意見ご質問がありましたらお願いします。

【委員】前回の会議が終わった後に、このような市の会議は、市役所だけではなく、できるだけ現場に出て行って、オープンな形で議論ができるといいですねという話を事務局にさせていただいておりました。本日こういう形で会議を持っていただきまして、誠にありがとうございます。そういった取り組みをこれからも進めていただけたらと思います。よろしく申し上げます。

進捗管理は、大変よくまとめていただき、課題等すごくクリアになってきていると思えました。次のステップとして大事なことは、課題として認識されることを来年度に向けて少しでも重点的に予算が配分され、人員がそこに投入されるような、そんな庁内的なしくみづくり、ここに是非取り組んでいただきたいと思えます。前回も申し上げましたが、今回企画政策部局に事務局を持っていただいておりますので、役割的にも、大変大事なことだと思います。

【会長】事務局、受け止めましたということで。

【事務局】ありがとうございます。今日の会場、前回会議でのご意見を少しでも形にできるようにということで、場所を変えさせていただきました。このようなお声掛けいただいて大変うれしいと思えます。

また予算が投入できるしくみも、まさしくおっしゃるとおりだと思います。未来子ども若者局は、今年度より未来創造部という政策部門の部局に参りましたので、施策立案や来年度の重点施策にどのように盛り込んでいくのかを一緒になって協議していける立ち位置になっております。そのなかで少しずつ形を考えていきたいと思っております。

また、子ども若者の声をどのように施策に活かすのかが、非常にこれからの流れとして大事だと考えておりますので、その部分も含めてどのように施策に声を届けるのかは、みなさんに、ご意見をいただきながらやっていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【会長】はい、ありがとうございます。課題について、後半にありますワールドカフェでいろいろなご意見をちょうだいしながら、具体的なことを描いていければと思います。他よろしいですか。

【委員】重点施策 7 ページ、安心して子育てできる環境づくりと 9 ページのところ、ちょっと疑問と質問です。「令和 5 年度から 18 歳までの幅広い年齢の子どもと子育て世帯に対する総合相談窓口を新たに設置して、相談しやすい環境を作った」と書いてあるんですけども、相談窓口ができたということを知って、どこにあるのかなと疑問に思いました。

今ちょうど保育園の来年度の申請も始まって、書類を書いたところですが、いろいろな書類がすごく書きやすくなっていて、細かいところでどんどんいろんなことが良くなっているなと感じています。

このような相談窓口もできたあとに、どう当事者に届けていくかが、すごく重要だと思っていて、私も知らなかったのでビックリして、これが当事者に届くようなくみづくりを、どのように考えておられるのかが一点です。

あと、9 ページの産後ケア事業は、ニーズが非常に高まっていると私も聞いておまして、実際利用者もどんどん増えています。私が出産した時は、産後ケア事業が使えるのは、両親が遠くにいるとか、旦那さんが単身赴任でいないとか、非常に限られた人でした。私も関心はあったんですけども、要件のところではじかれてしまいました。産後ケア事業とか他のものに関してなんですけど、使いたいなと思ったときに、自分が要件に合わないということはあることで、要件のところは、今後もう少し枠を広げていくとか、検討する可能性はあるのか気になったので聞いてみました。

ちょうど先日妊娠 7 か月の友人とじっくり話す機会があって、何を聞かれたかという、産後と出産に関して何を準備したらいいのかわからず不安だと。なぜそれを私に聞くのかという、ずっと病院に定期的に通っているが、7 ヶ月になるのに相談できる人がいなくて非常に不安。妊娠の期間を経て、お医者さんや助産師さんで相談相手ができると思っていたがいらない。それは私も同じ状況だったので、あまり変わっていないと感じたところです。ひとり親世帯が孤立しないようにと書いてありますが、産前産後と育児で一貫した支援体制を作るときに、何が一貫していればいいのかということ、今後ちょっと考えていただければうれしいと思います。これは意見です。以上です。

【会長】ご質問ご意見両方入っていますが、長浜子ども家庭センターの周知、そして産後ケアのこと、事務局いかがでしょうか。

【事務局】こども家庭センターのことを、当事者の方にどのようにとの、ご質問いただきました。ハード的な場所ができたというよりも、母子保健と児童福祉が機能的に連携したということになります。今までも、こども家庭支援課では家庭児童相談室で、子育て相談等を受けていましたし、幼児課の施設、例えば幼稚園でもいろんな相談に乗っていたり、健診に来られた時に健康推進課が受けておられたりと、さまざまな相談に対応していました。

いろんな相談に来られる方や悩みを持っておられる方に、うまく連携できればということと、どこに相談したらいいかわからないという方に対して、最初の窓口として、こども家庭センターの方に一旦来ていただいて、その内容や悩み事をお聞きしたなかで、それぞれの関係のところへおつなぎする、または支援をさせていただく形で考えております。

ホームページやながまるキッズのアプリ等では、周知をしておりますが、まだ不十分なところもあるかと思えます。さらに周知をし、子育て相談等何か不安な事があれば、こども家庭支援センターの窓口に来ていただく、または、メールで相談等していただけたらなと思っております。

【事務局】現在の窓口は、こども家庭支援課でお受けしています。専用の相談ルームを設けておりまして、来ていただいた時に、お子さんも遊びながら、保護者の方もゆっくりお話ししていただける場を設けております。

私たちが周知をどうするか、今までの相談窓口、健康推進課やこども家庭支援課、発達支援室があるなかで、紛らわしくなってはいけません。一方、どうしたらいいか、どこにどう相談したらいいかと悩まれる方には、まずはここに相談してくださいという窓口を作らせてもらいました。

今「長浜市 相談」で調べてもらうとあがってきて、相談に来られる方がポチポチ増えてきていますので、ますます周知の方はしていければと思っていますところでは。

【事務局】産後ケアのご質問がありましたので、答えさせていただきます。令和3年までは日帰り型と宿泊型の2種類でしたが、令和4年から訪問型も開始しております。ハッピー事業につきましても、お父さまも利用できるよう整備したりしております。令和5年度から、国の方が産後ケアにつきましてもユニバーサルサービスということで、利用したい方が利用いただけるようにという方針も打ち出しておりますので、そこに十分お応えできるように取り組みを進めてまいりたいと思えます。

また、妊娠出産の給付金も始まりまして、妊娠8か月の時にアンケートにお答えいただいたり、子育てコンシェルジュが丁寧に支援に取り組んでいるところです。先ほどおっしゃっていただいた産前それから産後を一貫した支援をしていくことにつきましては、みなさんの意見をお聞きしながら取り組みを進めてまいりたいと思えます。以上です。

【会長】はい、ありがとうございました。よろしいですか。それでは2番ブラッシュアップ部会の設置について、事務局からお願いいたします。

～事務局説明資料2～

【会長】はい、ありがとうございました。しゃべるだけではなくで、具体的に提言をしていくための部会であるということ。もしやりたいという方がいらっしやれば、是非名乗っていただけるといいかなと思います。夢だけではなく実現していくところでしょうか。はい、では続いて3にいきます。(仮称)長浜市未来子ども若者計画の策定に向けたアンケートについて事務局からご説明をお願いします。

～事務局説明資料3～

【会長】はい、アンケートに向けてのことです。具体について、いろいろ内容を検討していくはずだったんですけど、今の段階はご説明があったとおりでございます。業者がまだ決まっていないことと、子ども大綱がまだ出ていないということで、随時ご意見を求めていくという。また、アンケートについて協議する時間は取れるんでしょうか。

【事務局】子ども大綱は中間整理が出ていますので、大筋は変わらないと思いますが、業者も決まって、事務局の洗い出しも終わって、一定こういう形ですという提示はしていきたいと思えます。

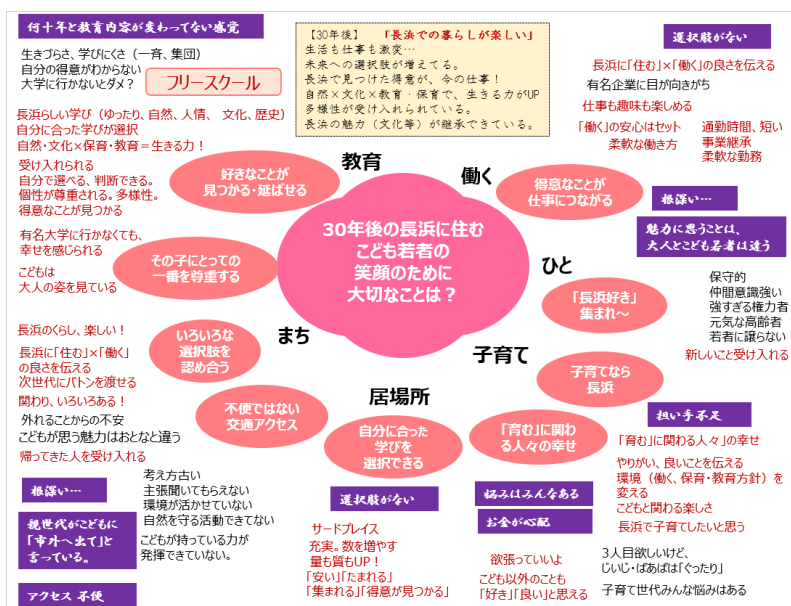
【会長】参集するかどうかは別にして、必ず委員のみなさまには意見を求めていくという時間や機会は必ず取っていただきますので、ご了承いただけますでしょうか。

大変あわただしく進行して申し訳ありません。最後の議題になりました。ワールドカフェ方式で意見交換を1時間ぐらいしたいと思えます。こちらについては、私の方で説明をさせていただきますと思えます。

～会長から説明～

～ワールドカフェ3ラウンド実施～

テーマ：30年後の長浜に住む子ども若者の未来のために大切なこと



【会長】はい、ありがとうございました。ワールドカフェ3ラウンドを終了いたします。とてもまとめられないんですけど、ひとつ感じたことは、長浜って根深い部分があるですかね。いろんな事業をする前に、多様性を受け入れられないようなこととか。でもそのあたりが普通の会議では絶対に出ないので、おもしろかったなと思います。

これで今日の議題はすべてなんですが、何か委員のみなさま最後にこれだけは言っておきたいこととかございますか。よろしいでしょうか。また、こういう形でしゃべれたらいいですね。はい、それでは長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

【事務局】本日はありがとうございました。みなさんワールドカフェいかがでしたでしょうか。いろんなお声が聞けて、自分もしゃべれて、すごくよかったなと私的には思います。進行いただいた会長にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

では、終わりに森次長の方からごあいさつさせていただきます。

《閉会のあいさつ》

～森次長より閉会のあいさつ～

引き続き、子ども達の意見やみなさんの意見をしっかり反映させて、長浜の子ども若者の計画づくりに詰めてまいりたい。引き続きよろしく申し上げます。本日はありがとうございました（拍手）。

【事務局】ありがとうございました。ではこれで第2回の会議を閉じさせていただきます。みなさんどうぞお気をつけてお帰りください。

【会長】会議終わって拍手が起こることなんてないですよ。